

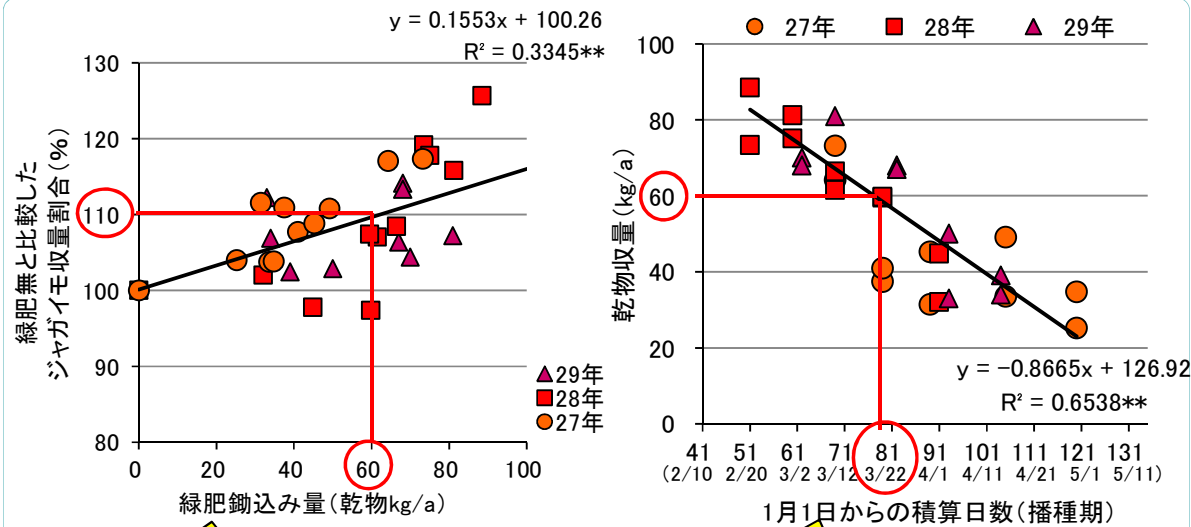
奄美地域における冬播き緑肥鋤込みによるジャガイモ増収効果と緑肥の播種時期

冬播き緑肥(エンバク)を鋤込むことで後作ジャガイモの収量が増加, 増収効果のある鋤込み量確保の緑肥播種時期は3月中旬まで

背景・目的

- ・奄美地域のジャガイモは気象条件等により生育, 肥大が大きく左右され, 単収の高位平準化が大きな課題
- ・近年, 冬播き緑肥による病害抑制効果の報告があり, 緑肥に鋤込みによるジャガイモの生産性向上が期待
- ・奄美地域での冬播き緑肥鋤込みのジャガイモ増収効果, 最適な播種期は不明

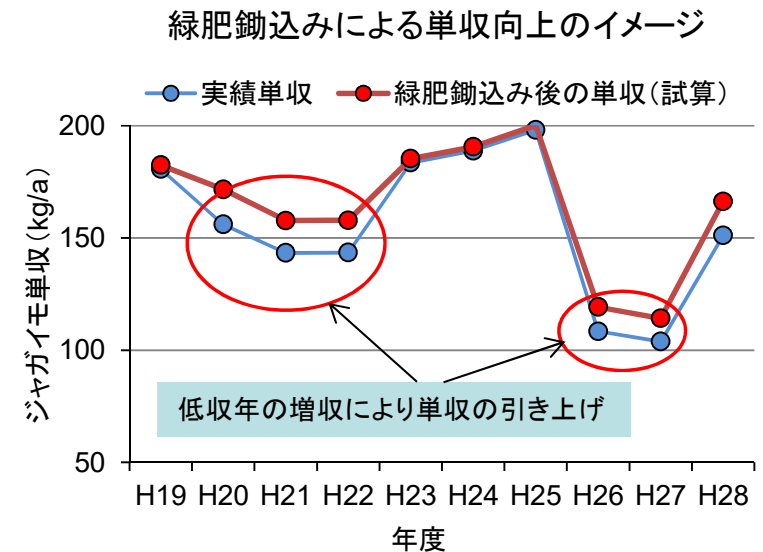
成果の内容



- ・緑肥の鋤込み量が多いとジャガイモ収量は増加
- ・鋤込み量乾物60kg/aで, ジャガイモ収量10%増収

- ・播種期が遅くなるほど緑肥の収量は減少
- ・鋤込み量60kg/a以上を確保するための播種時期は3月20日頃まで

導入メリット



- ・緑肥鋤込みによる増収効果で低単収の引き上げと経営の安定化

期待される効果

奄美地域ジャガイモの生産性向上

鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場園芸土壌研究室

普及対象・範囲
奄美地域のジャガイモ生産者